

②地方創生とは

〈地方創生が目指すもの〉

地方創生を具体的に表現したものが、「まち・ひと・しごと創生」です。

※ま ち：豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

※ひ と：地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

※しごと：地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

将来予想

○2008年に始まった人口減少は、今後加速度的に進む。

○人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となる。

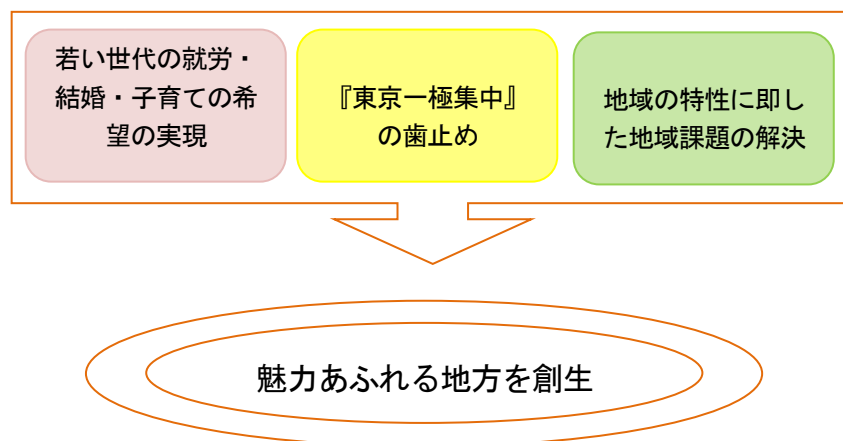
目指すもの

○国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保する。

○まち・ひと・しごと創生は、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。

〈国の視点〉

誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを進めるため、下記3つの視点を基本として、魅力あふれる地方を創生し、地方への人の流れをつくります。また、経済の回復を全国津々浦々で実感できるようにします。



③竹田市の取り組み

<竹田市のこれまでの取り組み>

平成 27 年 1 月 29 日に「竹田市地方創生 TOP 戦略本部」を発足させると同時に「戦略本部事務局」を設置しました。

市民、産官学金労言及び議会といった各分野からのご意見を拝聴し、平成 27 年 10 月に『竹田市 TOP 総合戦略』を策定しました。

策定から本日まで、国の各種地方創生交付金等をを活用しながら、5 年間で特に先行して実施する先駆的な事業等を推進してきました。

※実績については次項

<竹田市のこれからの取り組み>

国は、まち・ひと・しごと創生を実現するためには、従来の政策の反省に立ち、PDCA サイクルによる検証を行い、次年度以降の戦略に反映させていくよう定めています。

竹田市においても PDCA サイクルに沿った検証会議を開催し、結果を踏まえた施策の見直しや改定を実行していきます。

PDCA サイクル：

Plan-Do-Check-Action の略称

Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の 4 つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。